

会員各位

投稿規程の改定について

2017年3月20日
 一般社団法人 日本形成外科学会
 機関誌編集委員会
 委員長 岡崎 睦

投稿規程の一部が下記のように変更されましたのでお知らせいたします。会員各位におかれましては、ご確認のうえご投稿下さいますようお願いいたします。

改定前	改定後
<p>1. 投稿の資格, 条件, 方法</p> <p>(2) 投稿の条件</p> <p>2) 論文は他誌に未発表のものであり, かつ他の著作権を侵害しないものに限る。ただし例外として, <u>他誌に発表されたものについて, 異なる言語で書かれた論文など一定の要件を満たし, 編集委員会が認めたものに関しては二次出版を認める。</u>なお, 本規程は International Committee of Medical Journal Editors による Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals (http://www.icmje.org/) に準拠したものである。</p>	<p>1. 投稿の資格, 条件, 方法</p> <p>追加</p> <p>(2) 投稿の条件</p> <p>2) 論文は他誌に未発表のものであり, かつ他の著作権を侵害しないものに限る。ただし例外として, <u>次の要件を満たし, 編集委員会が認めたものに関しては二次出版として認める。</u></p> <p>①二次出版論文は, <u>一次出版論文と異なる言語で書かれ, 一次出版論文のデータ, 解釈を忠実に反映したものであること。</u></p> <p>②二次出版論文は主として一次出版論文と異なる読者層のために書かれていること。</p> <p>③一次出版論文の編集責任者の許諾文書と既刊論文(別刷もしくはコピー)を日形会誌編集事務局に提出すること。</p> <p>④二次出版論文の表題ページの脚注に, <u>一次出版論文の掲載雑誌名, 巻, ページ, 発行年, 表題, およびその論文の二次出版であることを明記すること。</u></p> <p>⑤二次出版論文の投稿は, <u>一次出版論文の掲載雑誌の発行後とする。</u></p> <p>⑥論文の構成・形式は本誌投稿規程に従うこと。</p> <p>なお, 本規程は International Committee of Medical Journal Editors による Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals (http://www.icmje.org/) に準拠したものである。</p>

5. 論文の受付, 査読, 採否

(1) 論文の受付

投稿が完了した時点でメールで通知する。ただし、原稿の書き方や提出書類などに不備があるものについては、受付メール通知後であっても査読を経ずに再投稿を依頼する場合がある。受理した原稿データは原則として返却しない。

6. 論文の種類

原稿の内容は形成外科学ならびにこれに関連のある領域とする。

(1) 投稿区分

以下の投稿区分に分類し、タイトルの前に明記すること。

1) 総説：ある研究課題についての歴史的展望と現在の動向を紹介する論文。

～中略～

※6) 投書は通常の査読は行わないため、投稿はE-mailで受け付ける。

7. 原稿の構成

(1) 原稿用紙

下記のファイル形式で保存し、それぞれ1ファイルにまとめること。

～中略～

5. 論文の受付, 査読, 採否

追加

(1) 論文の受付

論文原稿のほか、誓約書、カバーレターの提出は必須とする（カバーレターの書式・内容は定めない）。

投稿が完了した時点でメールで通知する。ただし、原稿の書き方や提出書類に不備があるものについては、受付メール通知後であっても査読を経ずに再投稿を依頼する場合がある。受理した原稿データは原則として返却しない。

6. 論文の種類

追加

原稿の内容は形成外科学ならびにこれに関連のある領域とする。

(1) 投稿区分

以下の投稿区分に分類し、タイトルの前に明記すること。

1) 総説：ある研究課題についての歴史的展望と現在の動向を紹介する論文。

～中略～

7) 二次出版：「二次出版に関する投稿規定」に定められた条件を満たし、編集委員会が認めたもの。

※6) 投書は通常の査読は行わないため、投稿はE-mailで受け付ける。

※7) 二次出版を受け入れる場合、通常の査読は行わずに医学的用語が正しく翻訳されているかどうか確認する。掲載可否の判断は用語の問題以外は修正を行わない状態で、可か否かのみを編集委員会で判断する。また、二次出版は業績と認めず、学術奨励賞の対象外とする。

7. 原稿の構成

変更

(1) 原稿用紙

下記のファイル形式で保存し、それぞれ1ファイルにまとめること。

～中略～

<p>用紙は A4 判縦を用い<u>上下左右 5 cm の余白</u>を取り，20 字×20 行の横書きとする。</p> <p>～後略～</p> <p>(2) 原稿の書き方</p> <p>2) 総説，原著は原則として，タイトルページ，和文要旨・日本語キーワード，英文アブストラクト・英語キーワード，序文，方法，結果，考察，結語，利益相反の有無，(インフォームドコンセント，謝辞) 文献の順に記載する。</p> <p>②和文要旨は 400 字までとする。<u>英文アブストラクトは構造化を原則とし，序論，方法，結果，考察，結論の順に 150～200 語程度にまとめ，英語を母国語とする者の校閲を受けること。</u>キーワードは 5 つ以内とし，日本語と英語で対応させること。</p> <p>6) 図 (グラフ)，写真の最低解像度は 1 つあたり 300 dpi とし，図表ファイルの容量は 10 MB までを目安とする。図表は本文中の挿入順にそれぞれ番号を付ける。図 (グラフ，写真) は図の下部に図番号，タイトル，説明文を記載し，表は表の上部に表番号とタイトルを記載する。</p> <h3>11. 投稿規程の変更</h3> <p>以上の投稿規程は，理事会の議を経て変更することがある。(平成 25 年 3 月制定，平成 26 年 10 月，平成 27 年 2 月，平成 28 年 2 月，本規程の一部を変更した)</p>	<p>用紙は A4 判縦を用い，<u>辺縁 1 inch 程度の余白</u>を取り，横書き，ダブルスペースで作成する。</p> <p>～後略～</p> <h3>追加</h3> <p>(2) 原稿の書き方</p> <p>2) 総説，原著は原則として，タイトルページ，和文要旨・日本語キーワード，英文アブストラクト・英語キーワード，序文，方法，結果，考察，結語，利益相反の有無，(インフォームドコンセント，<u>患者の掲載同意</u>，謝辞) 文献の順に記載する。</p> <h3>変更</h3> <p>②和文要旨および英文アブストラクトは<u>構造化を原則とし，序論，方法，結果，考察，結論の順にまとめる。</u>和文要旨は 400 字までとする。<u>英文アブストラクトは 150～200 語程度とし，英語を母国語とする者の校閲を受けること。</u>キーワードは 5 つ以内とし，日本語と英語で対応させること。</p> <h3>追加</h3> <p>6) 図 (グラフ)，写真の最低解像度は 1 つあたり 300 dpi とし，図表ファイルの容量は 10 MB までを目安とする。図表は本文中の挿入順にそれぞれ番号を付ける。図 (グラフ，写真) は図の下部に図番号，タイトル，説明文を記載し，表は表の上部に表番号とタイトルを記載する。<u>病理組織学的写真にはスケールバーを付けることを推奨する。また，染色法を明記すること。</u></p> <h3>11. 投稿規程の変更</h3> <h4>追加</h4> <p>以上の投稿規程は，理事会の議を経て変更することがある。(平成 25 年 3 月制定，平成 26 年 10 月，平成 27 年 2 月，平成 28 年 2 月，<u>平成 29 年 2 月</u>，本規程の一部を変更した)</p>
--	---